

教科	成果	課題
国語	<ul style="list-style-type: none"> ・段落構成や文章の要点に注意して、全体の内容を要約することができてきた。 ・既習漢字の読み書き能力が定着してきている。 	<ul style="list-style-type: none"> ・指示語についての理解が乏しい。指示語の前後の内容を読む指導を日常的に行い、言葉と体験が結びつくようにする。 ・読む能力に個人差がある。読書活動を通して理解を深める。
算数	<ul style="list-style-type: none"> ・自力解決の場面では、図や表を描いて考えをまとめることができた。 ・「たしかめプリント」等を活用し、基礎的な内容の定着を図ることができた。 	<ul style="list-style-type: none"> ・小数のわり算の余りの求め方やわり算の立式での、割る数と割られる数の理解に課題がある。 ・数直線の活用をすることが課題である。
理科	<ul style="list-style-type: none"> ・結果を予想して、観察や実験に取り組み事実を検証することができた。 ・長期的な植物の観察を根気強く行ったり、グループで協力して実験を行ったりして、興味をもった学習ができた。 	<ul style="list-style-type: none"> ・自然事象への関心・意欲・態度に課題がある。日常生活に関連付けたり、興味のある題材を選んだりして理科意欲を高める。
社会	<ul style="list-style-type: none"> ・資料を読み取る力が少しずつ身に付いてきた。 ・社会科の基礎となる用語は、クイズ感覚で取り組ませ、定着してきた。 	<ul style="list-style-type: none"> ・資料をもとに考察する力はもう一歩である。授業の中で様々な考え方にふれさせていく必要がある。
音楽	<ul style="list-style-type: none"> ・歌唱・器楽では、一斉指導やグループ活動を通して音色や奏法に注意しながら演奏することが出来るようになった。 ・常時活動を通して意欲的に取り組むことが出来た。 	<ul style="list-style-type: none"> ・音楽づくりの活動では、旋律やリズムを自由に作曲出来るようになってきている。しかし、「和音」や「音の重なり」を感じとりながら作曲したり、演奏したりすることには課題を感じる。
図工	<ul style="list-style-type: none"> ・課題に対して、よく話を聞き手順に従って取り組むことができた。 ・新しい道具や材料を積極的に活用し安全に取り扱うことができた。 	<ul style="list-style-type: none"> ・活動の中で表したいことがイメージ通りにならなかつたり、イメージが変化したりしてつまづいている児童がいた。素材経験を増やし、表したいことに合わせて表現方法を選択し、変えられる柔軟性を身に付けさせる。
家庭科	<ul style="list-style-type: none"> ・自分なりに課題を決めて、物づくりに取り組むことができた。 ・学習したことを家庭生活で生かそうとする児童が多くみられた。 	<ul style="list-style-type: none"> ・技能の習得力に差が見られ、特に裁縫の縫い方において個人差が大きい。友達同士で教え合ったり、ICTを使い技能ポイントを確認したりする活動を増やしていく。
体育	<ul style="list-style-type: none"> ・友だちと互いに励まし合ったり、教え合ったりしながら運動することができた。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ボールに触る機会が少なく、ボールの扱いにおいて個人差が大きい。ボール運動領域では、極力全員にボールに触る時間を多くつくり、技能を高めていく必要がある。